長尾 久司 君 作歌

小林滋宗君

作曲

二年を心に契る 光あり北の学舎 新たなり天地

誇らなん自治と自由の

『こ 若き日の生命の郷に

楡鐘は響かん おごそかに遺訓をこめて 四十星霜の高き伝統よ

魂ゆする雄叫びの日に たま おたけ の日に あこがれと正義の旗を うたわなん希望 うるわしき石狩の野に かざし進まん のうたを

永劫の時潮の流れよべいです。とき、ながなり天地雄大いなり天地。 きゅうき 悠久の神秘をひめしゆうきゅう くしび

苦しみを越えて幸あり 野にすさぶ試練の嵐 きびしかる天地

創造き行く恵迪の寮 よろこびの若き力に 輝ける久遠の真理かがや、くおん、まこと

たゆみなく求めて得たり

とわに栄えん